

81 も じ こ う
門 司 港

(福岡県北九州市)

注目ポイント！

明治・大正期の歴史的建造物とウォーターフロント景観を活用。
地元住民、民間、行政が力を結集。
下関市と連携し、共通リーフレット制作、共同イベントの開催。

平成7年3月のグランドオープン後、観光客数が劇的に増加！
約25万人(H6) 約107万人(H7) 約231万人(H16)



レトロナイトファンタジー

コラム

門司港レトロの観光振興の中心的役割を担っている「門司港レトロ倶楽部」は、地元のまちづくり団体9団体やJR九州門司港駅、北九州商工会議所をはじめとする民間事業者10団体、市の経済文化局・港湾空港局・教育委員会・門司区役所からなる官民連携組織である。事務局は大正6年建築の旧大阪商船内。「門司港レトロ倶楽部」を中心にイベントの企画・運営、広報宣伝活動、観光資源の開発等が行われ、門司港レトロでは、年間200を超えるイベントが開催されている。

これまでの経緯

- | | |
|-------------|--|
| 昭和63年(1988) | 門司港レトロ第1期事業開始(～平成6年)。
歴史的建造物の保存活用、ウォーターフロント整備、電線地中化等レトロな雰囲気合わせた町並みを整備する。 |
| 平成7年(1995) | 門司港レトロがグランドオープンする。 |
| 平成9年(1997) | 北九州市、下関市等が関門海峡観光推進協議会を設立し、関門として一体的にPR。
門司港レトロ第2期事業(サイクリングロード整備、第三セクターによる宿泊施設整備等)が開始される。 |
| 平成11年(1999) | 「門司港レトロ展望室」の整備「海峡プラザ」がオープンする。 |
| 平成13年(2001) | 夜間景観「門司港レトロナイトファンタジー」が整備される。 |
| 平成15年(2003) | 「海峡ドラマシップ」「九州鉄道記念館」が開館する。 |
| 平成16年(2004) | 「関門海峡周遊バス」の運行が開始される。 |
| 平成17年(2005) | 「門司港レトロ路地裏ガイド」が開始される。 |

当該地域は「わたしの旅100選」(平成17年)として選定されたプランに含まれています。

主な取り組み

門司港レトロ路地裏ガイド

北九州市経済文化局門司港レトロ室が主体となり、観光案内ボランティア制度をスタート。昭和の趣きが残る路地裏を探索するルートを、ボランティアが案内。

木造三階建ての元料亭や芸者の置屋跡等を巡り、華やかなりし頃の門司港が体感できる。観光客にも好評。



石畳の続く路地裏

ボランティアガイド



和布刈公園第2展望台から見た関門海峡

関門海峡周遊バス

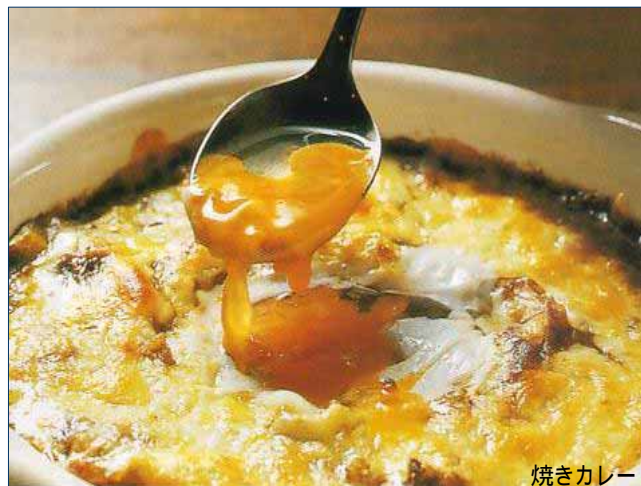
北九州市、下関市、山口県で構成される関門海峡観光推進協議会が主体となり、北九州市及び下関市の宿泊者を対象に、門司港の和布刈公園、ノーフォーク広場、下関市の赤間神宮、唐戸市場等の観光スポットをガイド付きで無料で巡る周遊バスを運行。



関門海峡周遊バス

ご当地グルメの発掘

門司港発祥のご当地グルメが人気上昇中。中でもカレーをオーブンで焼き、香りとコクを迫及した「焼きカレー」が代表格で、20店舗以上で展開。ビビンバ風、ウコン入り、シーフード等店ごとにバラエティがあり、ラーメンとチャンポンのあいの子「ちゃんラー」も人気。



焼きカレー

歴史的建造物の活用

門司港では、多数存在する海運会社のビルや料亭を、居酒屋やカフェ、旅館等に改築し、再活用。建物の周囲を取り巻く煉瓦造りの防火壁・うだつが印象的。

室内の大黒柱や梁が全て無節の一級品である大正10年建築の旧岩田酒店も、現在はイベントホールとして保存・活用。



旧岩田酒店

問い合わせ先

北九州市経済文化局門司港レトロ室

Tel : 093 - 322 - 1188 <http://www.retro-mojiko.jp/>